

第42回
2026年

「わたしの提言」論文募集

ACAP 消費者問題に関する

1985年より実施している消費生活に関する論文賞です。
安全・安心で豊かな将来を見据えた多様な視点からの提言を
消費者、企業・団体などの皆さまから幅広く募集します。

募集テーマ

1. これからの消費者教育
2. 待ったなし！今やるべきSDGs
3. 消費者被害やトラブルをなくすためにできること
4. 誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて
5. 見える情報 見えない仕組み～AI時代の消費者力を高めるために～
(令和8年度消費者月間統一テーマ)
6. 消費生活に関する自由課題（テーマ自由）
* 1～6より、ひとつを選択

募集要項

- ・18歳以上（グループでの応募も可）
- ・本文2,000字から約8,000字
- ・日本語、未発表・オリジナル作品に限る（AIの利用不可）

賞

- 最優秀賞「内閣府特命担当大臣賞」
1名（副賞 10万円）
- 優秀賞「ACAP理事長賞」
1名（副賞 5万円）
- 入選
4名以内（副賞 3万円）
- *2027年1月に発表・表彰を予定しています

審査委員

- | | |
|----------|-----------------------|
| 大藪 千穂 氏 | 日本消費者教育学会 会長 |
| 坪田 郁子 氏 | 公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長 |
| 白石 裕美子 氏 | 第一東京弁護士会 弁護士 |
| 飯田 健太 氏 | 消費者庁 政策立案総括審議官 |
| 坂田 祥治 | 公益社団法人消費者関連専門家会議 理事長 |

応募締切
2026年/
9月30日（水）

郵送：当日消印有効
WEB：23時59分

昨年の受賞作品は裏面に要約を掲載→

主催：公益社団法人消費者関連専門家会議（ACAP） 後援：消費者庁 文部科学省

応募方法（WEB・郵送）

- ・WEB
ACAPホームページから応募専用フォームに入り、必要事項を入力の上、応募論文(PDF形式)をアップロードしてください。
- ・郵送
ACAPホームページから応募票をダウンロードし、必要事項を記載の上、横書き[A4判40字×35行で2～6枚]の作品を送付ください。

お問い合わせ先

電話 03-3353-4999

詳しくは、ACAPホームページをご覧ください。
右のQRコードか

ACAP わたしの提言 で検索



第 41 回 2025 年 ACAP 消費者問題に関するわたしの提言

内閣府特命担当大臣賞・ACAP 理事長賞 受賞作品要旨

最優秀賞：内閣府特命担当大臣賞

「知的障がい者や高齢者に優しい消費生活のために」

セルフレジの普及により、知的障がい者や高齢者が操作に困難を抱え、買い物がしにくくなるというデジタル格差が生じている。特別支援学級での買い物学習でも、バーコード認識や支払い操作など多くの課題が明らかになった。これを解決するため、平易な言語や動画を用いた「かんたんモード」の導入、ボランティアによる人的支援、セルフレジモデルの貸し出しや当事者の声を反映した UI 改善を提案し、誰もが安心して消費活動に参加できる社会の実現を目指したい。

優秀賞：ACAP 理事長賞

「再発防止に向けた美容機器の販売・広告ルール再設計

—HIFU 被害を繰り返さないために—

HIFU 美容施術はエステサロンで急速に普及した一方、火傷や神経損傷など深刻な健康被害が全国で多発した。未承認機器が「雑品」として流通し、広告は医療的効果を誤認させ、販売・施術・広告の各段階で責任が曖昧だったことが原因である。行政通知により非医療者の施術は違法と明確化されたが、制度的空白は依然残る。再発防止には、販売登録制度、広告審査、第三者認証など、情報の非対称性とモラルハザードを是正する包括的な制度設計が必要である。

その他入選 3 作品を含む、全作品の内容が以下よりご覧いただけます。

<https://www.acap.or.jp/activity/enlightenment/teigen/teigenaward-list/>



こちらの QR コードからも上記 URL へ遷移します。→